

天塩川下流・留萌川水防連絡協議会
第1回留萌川減災対策部会 議事概要

日時：平成28年3月25日（金） 13:30～15:00

会場：北海道開発局 留萌開発建設部 第1会議室

構成員：留萌開発建設部長、旭川地方気象台長（代理出席）、
留萌振興局長（代理出席）、留萌市長

《議事内容》

- ・ 現状の水害リスク情報や取組状況を共有、減災のための目標等について協議
- ・ 5年間で達成すべき目標および目標達成に向けた”3本柱”の確認
- ・ 今後の具体的な取組項目、フォローアップ方法の検討を行うことを確認
- ・ 適時、幹事会を開催して議論のうえ、第2回留萌川減災対策部会を出水期までに開催し、避難、水防、排水活動等、今後5年間を目処に取り組む「地域の取組方針」を策定することを確認
- ・ 毎年、減災対策部会等を開催し、「取組方針」に基づく実施状況等はフォローアップを実施することを確認

《主な意見》

（旭川地方気象台）

- ・ 各関係機関による迅速で確実な情報の提供と連携の強化が重要。最大限の協力をしたい。

（留萌市）

- ・ 正しい知識や的確な情報が適切な判断に繋がる。
- ・ ダムや遊水地、河川整備などにより、水害に対して大丈夫という思いが市民にあるため、昭和63年洪水の記録や大水害の恐ろしさ、洪水時の正しい対処などについて、若い職員や市民に防災教育等を通じて、正しい知識として認識を深めるよう行政として取り組む必要がある。

（留萌振興局）

- ・ ダムや遊水地などの河川整備により、水害リスクが低減していると思うが、鬼怒川の例から、何時何処で何がおこるかは分からない。特に留萌川は早く水位上昇することから関係機関の情報共有が重要。
- ・ 洪水の浸水深を表示している”まるごとまちごとハザードマップ”が整備されているところであるが、今後、日本海側の津波対策を進めていくにあたり、洪水と津波の使い分けなどを考慮する必要がある。